

授業科目名	【G】	民法(総則) I	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
	【H】	民法(総則) I			【H】1		【H】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	民法総則のルールとしくみを学ぶ				担当者	関 義央		
授業概要	【概要】	民法において骨組みと言える「総則(民法1~174条)」についてのルールとしくみを学ぶ。本科目は総則の前半部分、「人」、「法律行為・意思表示」を中心に学んでいく。						
	【到達目標】	1. 民法総則のルールとしくみについて理解し、他者に説明できる。 2. 裁判で実際に問題となった事例を参考に、法の解釈・適用ができるようになる。						
履修条件	特になし。ただし、授業運営や成績評価方法などの詳細を説明するので、初回授業に必ず出席すること。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	①「民法概論」の単位を取得済みであることが望ましい。 ②次年度前期に開講する以下の科目は本科目の後半部分を扱うため、本科目に続けて履修するのが望ましい。 「民法(総則)II」							
教科書	永田眞三郎＝松本恒雄＝松岡久和＝横山美夏『民法入門・総則[第5版補訂版]エッセンシャル民法1』(有斐閣、2023年 ISBN978-4-641-18463-3) 令和7年版の小型六法(出版社は問わない。判例付きでなくてもよい)							
参考書	必要に応じて授業中に紹介する。							
評価方法	学習到達度確認テストの成績(60%)とレポート課題(40%)により総合評価する。 ただし、ほかに課題・小テストによる成績を加味する場合もある。詳細は初回の授業で説明する。							
フィードバック方法	教員が採点・評価したテストやレポートを返却する。							
評価基準	上記授業単元の内容について、概略を理解した者については「C」とし、その背景や理由等も理解した者については「B」、さらに、主要な学説や判例を理解し、自己の見解を適切に表現できた者については「S」または「A」とする。単元の内容についての理解が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、所定の出席要件を充たさないなど評価不能の場合には「F」とする。							

授 業 科目名	【G】	民法(総則) I	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	民法(総則) I	選 択 必 修		【H】1		【H】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス・民法とは何か						
	予習:	私法と民法の関係について調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
2	民法総則の位置付け						
	予習:	民法典の編別について調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
3	権利の主体・人①人(自然人)の能力						
	予習:	権利能力について調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
4	人②行為能力						
	予習:	制限行為能力者について調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
5	人③制限行為能力者の保護・失踪宣告						
	予習:	失踪宣告について調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
6	法律行為と意思表示						
	予習:	意思表示について調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
7	意思表示総論・心裡留保						
	予習:	心裡留保について調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
8	虚偽表示①基本事項						
	予習:	心裡留保と虚偽表示の違いを調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
9	虚偽表示②94条2項の類推適用						
	予習:	類推適用とは何か調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
10	錯誤						
	予習:	錯誤の典型例を確認する(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
11	詐欺・強迫による意思表示						
	予習:	詐欺と強迫とは何か調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
12	無効・取消し						
	予習:	無効と取消しの相違点を調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
13	法律行為の内容規制						
	予習:	強行規定と任意規定の違いを調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
14	消費者契約法						
	予習:	消費者契約とは何か調べる(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
15	授業の総括						
	予習:	授業中理解できなかった点の確認(2時間)	復習:		授業内容について整理する(2時間)		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業であっても、Google Classroom といったWeb上のシステムを活用する。 ・対面授業の場合、携帯電話(スマートフォン、タブレットも含む)は電源を切るか、マナーモードにすること。 ・対面授業の場合、私語は厳禁。悪質な場合は退室を命じ、以後の受講を認めない。 ※G・H共:【選択必修(D)】						